

会 議 録

会議の名称	第2回特別支援ネットワーク協議会
事務局	小金井市教育委員会学校教育部指導室
開催日時	平成22年2月16日(火)午後4時より午後6時まで
開催場所	前原暫定集会施設1階 A会議室
出席者 (26名)	<p>委員 小林美都江(学校教育部長) 前島 賢(学務課長) 豊岡 弘敏(指導室長) 尾崎 充男(生涯学習課長) 天野 建司(企画政策課長) 佐久間育子(障害福祉課長) 高橋 茂夫(健康課長) 川村 久恵(子育て支援課長) 小野 朗(保育課長) 門田 順子(児童青少年課長) 小川 順弘(市立小・中学校校長会代表) 國松 順(都立特別支援学校校長) 渡邊 孝之(私立幼稚園協会代表) 茂森 ミエ(民間保育園園長会代表) 渡辺 真紀(P T A連合会代表) 堀 恵(特別支援学級保護者会代表) 栗原 博(小平児童相談所長) 齊藤 修(障害者就労支援センター所長) 村岡 輝一(障害者センター所長) 高橋 智(東京学芸大学教授) 平林 実枝(公募市民) 浜井 一郎(公募市民) 馬場 利明(公募市民)</p> <p>事務局 加納 一好(指導室長補佐) 浜田 真二(指導主事) 清水 康之(指導室教職員係)</p>
傍聴の可否	㊦ ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	4人
傍聴不可等の理由等	なし
会議次第	<p>1 あいさつ 2 協議 (1) 今後の協議会の開催時間について (2) 臨時委員の依頼について (3) 特別支援教育推進上の課題について 3 事務連絡</p>

主な発言
要旨

- 1 あいさつ（小林部長）

お集まりくださりありがとうございます。第1回協議会では取組報告及び講演会があった。その中で就学時や就労時の課題があげられた。第2回は、委員から特別教育推進上の課題を出し合う。有意義な協議をお願いする。
- 2 協議（議長は指導室長がした。）
 - (1) 今後の協議会の開催時間について
 - ・【資料3】のアンケート結果のとおり3時～6時の間の2時間に開催を希望する委員が多かった。6時以降の開催を希望する委員もいた。（事務局）
 - ・内容によっては、夜開催もあるのか。（馬場委員）
 - ・夜の開催も検討する。（事務局）
 - ・出席者のための保育も考えないか。（浜井委員）
 - ・検討する。（事務局）
 - ・3時～6時を原則として、6時以降の開催も検討していくことでよいか。（議長）
（異議なし）
 - (2) 臨時委員の依頼について
 - ① ピノキオ幼児園保護者について
 - ・臨時委員とは何か。（齊藤委員）
 - ・要綱上にはないが、協議を経て参加が認められた委員であり、継続的に協議会に参加する。（事務局）
 - ・子供の訓練時間以外は時間が取りにくい。声かけはできるが、出席する委員を固定することは厳しい。（小野課長）
 - ・委員を固定しなくてもピノキオ幼児園の保護者の出席は必要である。（浜井委員）
 - ・ピノキオ幼児園に限らず、障害のある幼児をもつ保護者としたらどうか。（高橋委員）
 - ・私も子供の介護制度を活用して参加している。いろいろな年代の方の意見が必要である。参加を望む。
 - ・ピノキオ幼児園に固定するのではなく、幼稚園や保育園と調整して、障害のある幼児をもつ保護者を臨時委員とすることでよいか。（議長）
（異議なし）
 - ② 特別支援学校保護者
 - ・PTA会長は小平市民であるので、小金井市の方がよければ、市の代表の方を考えてみる。（國松委員）
 - ・特別支援学校保護者を臨時委員としてよいか。（議長）
（異議なし）
 - (3) 特別支援教育推進上の課題について
 - ・通常の学級や普通高校を出た発達障害の方の就労に関して、面接が通らない、仕事が続かないなど課題が大きい。支援がされてこなかった状況がある。小学校や

主な発言
要旨

- 中学校、就学時の支援等、早期の支援が大切である。(齊藤委員)
- ・ 現在、各課で巡回相談を行っているが、情報を共有していないのか。(馬場委員)
 - ・ それぞれの課で実施している。保育課は、保育をする上での留意点について指導を受けている。(小野課長)
 - ・ 子ども家庭支援センターによる巡回相談を実施している。他課と情報の共有はされていない。今後の課題である。(川村課長)
 - ・ 学童クラブに学期に1回実施している。集団の中での課題を探っている。(門田課長)
 - ・ 小学校中学校で学期に1回実施している。他との連携は今後の課題である。(事務局・指導室)
 - ・ 教員が保育園を訪問しても、個人情報してもらえない。幼稚園・保育園と小学校の連携が必要である。(小川委員)
 - ・ 保育園では、保護者の理解がないと個人情報を小学校に渡せない。保護者が子供の障害を理解していない場合もある。日常からの連携を深めていきたい。また、来園を知らせてもらえれば、保護者の許可を得るように努める。(小野課長)
 - ・ 保護者が認めない場合もある。情報はどの学校もほしがっている。障害に対する保護者の理解の差が大きいことが課題である。(小川委員)
 - ・ 児童相談所では、障害にかかわる相談件数は増えている。心理士が保護者等に助言をしている。発達障害の方で知的に問題がない場合は、「愛の手帳」は発行していない。(栗原委員)
 - ・ 通常の学級に発達障害が疑われる子供がいる。やはり保護者の理解が得られないという課題がある。子供に対してだけでなく保護者への支援も必要である。(堀委員)
 - ・ 障害児をもたない保護者の多くは自分たちの問題として受け止めていないので、関係の保護者が孤立してしまうことがある。当事者だけが考えるのではなく、みんなが理解していくことが必要である。PTAでやっていることも知らせていきたい。(渡辺真紀委員)
 - ・ 保育園では障害のある子を2人まで受け入れている。子ども家庭支援センターと連携して支援している。1才半、3才半、就学時健診の情報が欲しい。保育園の小学校の連携を図りたい。(茂森委員)
 - ・ 幼稚園では、障害の理解を進めるために保護者にどう説明するかが課題である。面談でも気をつけている。補助金が出ているが、人材確保も難しく経営は厳しい。

主な発言
要旨

小学校の先生や教育委員会の担当者が来るなど、連携はとれている。指導要録については、必要ならば小学校へ送付する。(渡邊孝之委員)

- ・愛の手帳を高齢になってから申請する人が増えてきた。障害については、小さい時に発見され、診断されることがよい。発達障害がある人を地域で見守ることが大切である。障害者福祉センターなど安心して使える施設を活用してほしい。(村岡委員)
- ・【資料4】については、小金井市で就学相談を受けた子供に配付し活用しているものである。(前島課長)
- ・他市ではホームページに載せ、誰でも手に入るようにしている。有効に活用してほしい。(馬場委員)
- ・就学相談にかかわる子供だけではなく、多くの子供にチェックリストとして配付できないか。(齊藤委員)
- ・検討したい。(前島課長)
- ・保護者の理解を進めるリソースが必要である。もっと早期から用意することで障害に気付かせることができる。体系的な支援制度が必要である。特に就学前からの支援を充実する必要がある。発達障害の情報提供だけでなく、特別支援の全体の根幹となる施設として発達支援センターを小金井市につくってほしい。(高橋委員)
- ・【資料5】は、馬場委員からの情報により用意した。(事務局)
- ・この相談支援ファイルは継続的に活用していくものである。成育歴は大事である。小金井市でも支援ファイルを作成して、健診後に配付したらどうか。(馬場委員)
- ・小金井特別支援学校は高等部がないので、高等部3年間は他市に行き、卒業すると小金井に戻ってくる。高等部での3年間の空白を埋めるためにも支援シート等が必要である。東京都としては、軽度知的障害の特別支援学校を整備している。エンカレッジスクールでは発達障害の生徒への支援を行っている。小金井特別支援学校では、就学前幼児体験教室を実施している。外部支援機関を加えた支援会議も開いている。(國松委員)
- ・第二小学校には通常の学級、固定級、通級がある。教員間のネットワークが大切である。(小川委員)
- ・1歳半健診で子供に支援が必要だと保護者が言われても、現状は行政による早期対応がない。保護者にとっても早期発見、そして早期対応が大切である。発達支援センターの新設が望まれる。特別支援学級の人数が増えていることも課題である。(浜井委員)
- ・就学相談では、委員の人と保護者も一緒に考えていく

<p>主な発言 要旨</p>	<p>姿勢が必要である。就学相談の際に作成した資料をもらえなかった。情報公開でもらったが、役に立っている。有効な支援の材料になる。(馬場委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は、保護者と連携して資料を作成している。資料も保護者に渡している。(茂森委員) ・かかわりのない人は、特別支援教育を別世界のもののように見る。特別支援学級を特別視している保護者がまだいる。理解が進んでいない。気付く場が少ない。支援シートも多くの人に周知し、特別支援教育についてさらに周知を進めてほしい。自校通級の実現を望む。(平林委員) ・固定の特別支援学級では指導の充実、小学校の通級は指導の積み重ね、中学校の通級は学級数についての課題が考えられる。(松浦委員からの文書を事務局が代読した。) ・様々な課題を聞いて勉強になった。発達支援センターの設置が必要である。障害のある子供の現状把握、支援ファイルの作成、高等学校段階での支援等の課題がある。協議会は議決機関ではないが様々な議論をしていきたい。(高橋委員) ・事務局で整理し、今後、課題を絞って議論していきたい。本日はありがとう。(議長) <p>3 事務連絡</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 記録はホームページ等で公開する。事前の確認をお願いする。 (2) 次回は、5月の開催を予定している。
<p>提出資料</p>	<p>資料1 第1回ネットワーク協議会記録 資料2 小金井特別支援ネットワーク協議会名簿 資料3 開催時間希望調査結果 資料4 就学支援シート 資料5 三重県四日市市「相談支援ファイル」</p>